

授業参観、ご苦労様でした。

今回の学習は、保健体育の「薬物乱用の害」の学習でした。一口に薬物といっても、ピンとこないのが子ども達の実情だと思います。「まさか市浦で……。」と思うのですが、いっどこで遭遇する事態かわかりません。あくまで「仮定すると」ということで、真剣さが足りなかったように思いますが、意識付けにはなったのではないのでしょうか？

薬物の他にも、喫煙・飲酒など子ども達の周りには誘惑がいっぱいです。順を追って、学習の中でとりあげていこうと思います。



出席できなかったみなさんに：懇談資料の追加連絡したこと

【冬休みの課題】

→夏休み作品展において、学年問わず、作品へのいたずら等がみられたため、工作などの作品展は開きません。

冬休みの作品展は、「習字：書き初め大会」とします。各学年毎に課題が出されるので、清書したもののなかから1枚提出し、出品することとなりました。

【全国学力・学習状況調査】

→4月に行った学力調査の個人票を配付しました。

懇談資料にも載せましたが、あくまで学力全体の一部です。冬休みなどの期間を利用して、落ちているところを見直す目安としてもよいでしょう。

【小・中連携にかかわって】

・学区研で出された中学校から小学校への要望など



→中学校との情報交換の中で一番にあげられたのが、家庭学習の実情でした。その中でも、「課題（宿題）をやってこない児童は、学力面でフォローが大きくなる。」と言われました。毎日のように出される課題に対して、継続的に取り組む姿勢を育てなければならないようです。その点に関しては、毎日30分～1時間程度の内容のものを出し、ほとんどの子どもが取り組んでいますので、現時点でも自信を持って中学校に送り出せそうです。

→しかし、中学校での学習教科は小学校よりグンと多くなります。現在のドリル的な課題も大切ですが、それにプラスしたさらなる課題も必要ようです。部活動も一段落したこの時期から、量的にも増やしていく必要がありそうです。